

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

事業名	コード	名称	区分	コード	名称
125		芭蕉祭執行等経費	会計	01	一般会計
			款	02	総務費
35		文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	項	01	総務管理費
			目	08	芭蕉顕彰費
4		松尾芭蕉を核とした地域づくりの推進	細目	101	芭蕉翁顕彰経費
			細々目	01	芭蕉祭執行等経費
基本計画該当頁			140		
行革大綱の重点事項番号			7		
担当部課	コード	040200	評価者氏名	森本 勝美	連絡先
	名称	企画振興部文化国際課			22 - 9624 (内線) 2120

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
芭蕉翁を顕彰する人 園児、小学生、中学生、高校生(主に市内の学校、園)	(※対象件数)	世代に関わらず松尾芭蕉を顕彰することができる。 俳句の普及とともに伊賀市をPRできる
根拠法令・要綱等 俳文学関係著作に係る文部科学大臣賞授賞に関する要綱(文部科学大臣賞の授賞のみ関係)		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
事業内容	(財)芭蕉翁顕彰会に事業委託をし、市との共催で10月12日に事業を実施。 ①記念講演会 ②墓前法要等 ③式典(上野公園内俳聖殿前広場) ④芭蕉祭行事(市内各地) ⑤協賛行事(市内各地) ⑥義仲寺展覧 ⑦芭蕉さんを偲ぶ会(市内各小学校) ⑧式典放送(ケーブルテレビ、インターネット)	式典のケーブルテレビ及びインターネット生放送を取りやめ、委託料を900千円減額した。 これまで委託業務に含まれていた俳文学関係著作に係る文部科学大臣賞選考委員会と子ども俳句大会を19年度より行政で行うこととなり、これに係る必要経費を予算化した。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
芭蕉祭ポスター掲示部数	部	目標 300 実績 300	目標 350 実績 350	350	350
芭蕉祭市民バンド練習回数	回	目標 8 実績 9	目標 8 実績 12	10	10
芭蕉祭行事等打ち合わせ会	回	目標 6 実績 6	目標 6 実績 6	6	6

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
芭蕉翁献詠俳句投句数	投句数の増が俳句の浸透を表す指標となる	句	目標 47,000 実績 41,193	目標 45,000 実績 41,191	45,000	45,000
芭蕉翁献詠俳句投句数(一般)	投句数の増が俳句の浸透を表す指標となる	句	目標 18,000 実績 12,472	目標 15,000 実績 11,828	15,000	15,000

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	松尾芭蕉の生誕地として、芭蕉顕彰事業を通して、芭蕉が育んだ文化を後世に伝承することは今後の伊賀市文化の発展にも関わることであり、芭蕉翁を核としたまちづくり推進のためにも必要である。また、伊賀市を国内だけではなく国外へもPRしていくことができる。
有効性	2	献詠俳句募集を通して世代に関わらず、芭蕉への献詠俳句を作る機会ができ、松尾芭蕉の顕彰に寄与することができた。しかし、献詠俳句募集事業では投句数が減少するなど、市民等の関心が低くなりつつある。
達成度	3	ほぼ計画どおり達成できた。
効率性	3	芭蕉翁を核としたまちづくりを推進する伊賀市としては、大きく国内外にPRする必要がある。現在の事業規模、内容、委託相手では、これ以上の予算減額は難しい。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
C	変更	文化伝承の視点から「芭蕉祭」は引き続き実施する必要があるが、業務内容や委託内容の整理・委託先の見直しを行う必要がある。

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容				平成19年度 決算内容				平成20年度 計画内容				平成21年度 計画内容				平成22年度 計画内容				平成23年度 計画内容						
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額			
委託	←	執行委託料			(千円) 11,000	選考委員報酬			(千円) 320																			
		放映委託料			1,250	報償費			42	報償費			47															
工事	→	その他			12	旅費			107	旅費			150															
						執行委託料			9,416	執行委託料			9,291															
						放映委託料			1,050	図書購入費			200															
						その他			59	その他			89															
進捗率(%)					事業費計(A)	Σ		12,262	事業費計(A)	Σ		10,994	事業費計(A)	Σ		10,097	事業費計(A)	Σ		10,097	事業費計(A)	Σ		10,097	事業費計(A)	Σ		10,097
事業投入人員		人件費(B)	0.6	人	4,320	人件費(B)	0.6	人	4,320	人件費(B)	0.6	人	4,320	人件費(B)	0.6	人	4,320	人件費(B)	0.6	人	4,320	人件費(B)	0.6	人	4,320			
フルコスト(A)+(B)					16,582			15,314				14,417				14,417				14,417				14,417				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A)	事業費	12,262	10,994	10,097	10,097	10,097	10,097
Aの財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	受益者負担						
	その他	1,593	3,346	3,283	3,283	3,283	3,283
	一般財源	10,669	7,648	6,814	6,814	6,814	6,814
	計	12,262	10,994	10,097	10,097	10,097	10,097
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・地方債の区分と充当率等	芭蕉翁顕彰事業基金 1,593千円	芭蕉翁顕彰事業基金 3,346千円	芭蕉翁顕彰事業基金 3,283千円	芭蕉翁顕彰事業基金 3,283千円	芭蕉翁顕彰事業基金 3,283千円	芭蕉翁顕彰事業基金 3,283千円